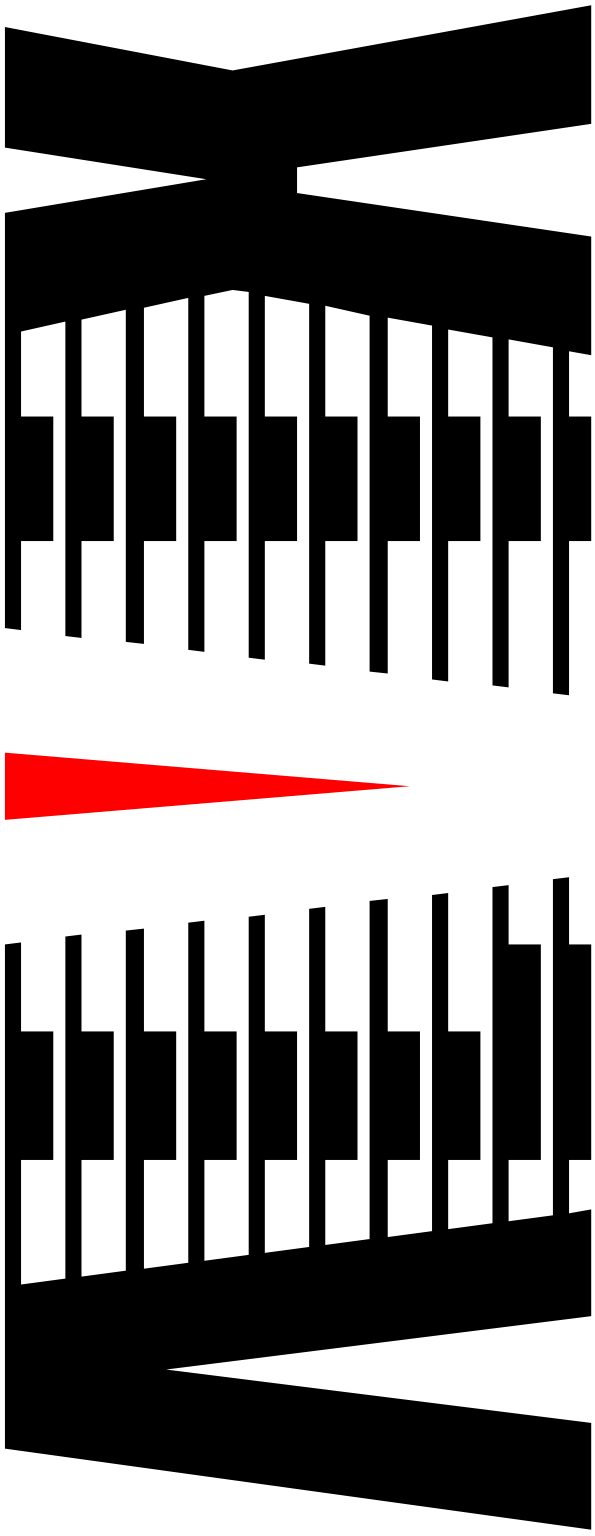
“アルビクス” マルチビューワ

MV−550

取扱説明書

Ver.０２



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

ページ

１．　主な機能と特徴 …… ３
２．　仕様 …… ４
３．　各部の名称と機能 …… ８
　３－１　入力ユニット …… ８
　３－２　出力ユニット …… １０
４．　接続方法 …… １４
５．　設定について …… １５
　５－１　子画面設定 …… １５
　　５－１－１　表示 ON/OFF …… １５
　　５－１－２　Input No …… １６
　　５－１－３　サイズ …… １７
　　５－１－４　表示位置 …… １７
　　５－１－５　枠モード …… １８
　　５－１－６　チャンネル名称・ロゴ　表示 ON/OFF …… １９
　　５－１－７　チャンネル名称・ロゴ　表示位置 …… ２０
　　５－１－８　音声バー表示位置 …… ２２
　　５－１－９　枠色・ブリンク …… ２６
　　５－１－１０　BASE 色・ブリンク …… ２８
　　５－１－１１　サブインジケータ …… ２９
　　５－１－１２　アスペクト設定 …… ３０
　　５－１－１３　サブアスペクト設定 …… ３１
　５－２　チャンネル名称・ロゴ設定 …… ３３
　５－３　時計設定 …… ３４
　　５－３－１　アナログ時計 …… ３４
　　５－３－２　デジタル時計 …… ３５
　５－４　コメントウィンドウ設定 …… ３６
　　５－４－１　設定項目 …… ４０
　５－５　背景設定 …… ４１
　　５－５－１　表示 ON/OFF …… ４１
　５－６　レイアウト設定 …… ４２

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特徴

◇アルビクス・マルチビューワは、複数のＳＤＩ入力信号を、
ＰＤＰや液晶モニタなどの高解像度モニタに分割表示することができます。

◇最大実装時、入力は４８ｃｈ入力可能で、
レイアウトが全く異なる分割画面を４系統出力します。
例えば、１２分割画面を４系統出力することが出来ます。
入力の４８ｃｈは、４系統出力のどこにでも出力することが出来ます。
また、１つの入力を分配し、複数の出力モニタに表示する事も可能です。
運用時に、入力ｃｈを入れ替える事も可能です。

◇入力は、３Ｇ／ＨＤ／ＳＤ－ＳＤＩで、３Ｇ／ＨＤ／ＳＤを自動判別します。
※3G-SDI は(Level-A 1080p 59.94)となります。

◇エンベデッドオーディオに対応し、最大８ｃｈのオーディオレベルバーを
合成することができ、目視による音声の確認ができます。

◇ＬＴＣ入力が可能でアナログ時計／デジタル時計表示を同時に表示可能です。

◇レイアウトは出力毎に８個持つ事が可能です。

◇各入力信号にチャンネル名称を表示することができます。
チャンネル名称は、シフトＪＩＳコード（第一水準）の文字が表示可能です。

◇分割表示の他に背景画像表示やコメントウィンドゥ表示が有り、
背景に静止画を登録・表示したり、コメントウィンドゥで文字やタリーなど
を自由に表示することが可能です。

◇外部制御はＬＡＮインターフェイスを装備し、設定はＴＣＰ／ＩＰで行います。
入力の信号状態（同期断、黒味、フリーズ、無音）などを SNMP トラップで
通知する事が可能です。

◇電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

２．仕様

＜入力ユニット＞

筐体：MV-550-ITN		
外部制御	ＯＵＴ基板にＥＴＨＥＲコネクタあり（出力ユニットと接続します）	
ＳＮＭＰ通知	ＯＵＴ基板にＥＴＨＥＲコネクタあり（ＳＮＭＰ通信用）	
メンテナンス	前面より IN-SCALER-8 基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： MV-550-IPU	リダンダント、ホットスワップ	
	ＡＣ１００～２５０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）	
外形寸法	Ｗ４３０Ｈ８８ｘＤ５７６ ２Ｕラックマウントサイズ（突起含まず）	
基板実装枚数	IN-ＲＥＡＲ-48	１枚
	IN-SCALER-8 基板	１～６枚
	IN-OUT 基板	１枚
最大入力信号数	４８系統	
最大出力信号数	４系統	
重　　量	約１１ｋｇ	
消費電力／皮相電力	約　３２１Ｗ／３２４ＶＡ	
使用周囲温度	５～４０℃	

IN-ＲＥＡＲ-48 基板		
入力信号	入力信号形式	３Ｇ－ＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ　４２４Ｍ　１０８０ｐ） Level-A
		ＨＤ－ＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ　２９２Ｍ　１０８０ｉ）
		ＳＤ－ＳＤＩ（ＳＭＰＴＥ　２５９Ｍ　４８０ｉ）
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
	入力信号数	４８系統
	入力音声信号	エンベデッドオーディオ　８ｃｈ対応
活線挿抜	不可	

IN-ＳＣＡＬＥＲ-８基板	
信号形式	３G／HD／ＳＤ－ＳＤＩ
処理数	８系統　８子画面の変換を行います。
機能	オーディオバー表示
	ＩＰ変換
	リサイズ
活線挿抜	不可

IN-ＯＵＴ基板		
出力信号	出力信号形式	３G－ＳＤＩ　ＬｅｖｅｌＡ　１０８０ｐ 出力ユニットと接続します。
	入力接栓	ＢＮＣコネクタ
	出力信号数	４系統
制御	制御方式	ＴＣＰ／ＩＰ（出力ユニットと接続）
	コネクタ	ＲＪ－４５
SNMP	制御方式	SNMP
	コネクタ	ＲＪ－４５
活線挿抜	不可	

＜出力ユニット＞

筐体：MV-550-OTN		
外部制御	OUT-CNT 基板にＥＴＨＥＲコネクタあり	
入力ユニット制御	OUT-CNT 基板にＥＴＨＥＲコネクタあり	
メンテナンス	前面より OUT-DVI/OUT-CNT 基板・電源ユニットの交換が可能 背面より OUT-GPI/OUT-232C 基板・ファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： MV-550-OPU	リダンダント、ホットスワップ	
	ＡＣ１００～２５０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）	
外形寸法	Ｗ４３０ｘＨ８８ｘＤ４４２ ２Ｕラックマウントサイズ（突起含まず）	
基板実装枚数	OUT-DVI 基板	１～４枚
	OUT-CNT 基板	１枚
	OUT-232C 基板	１枚 OUT-CNT とセットです。
	OUT-GPI 基板	０～２枚
最大入力信号数	４系統（OUT-DVI 基板 ４枚実装時）	
最大出力信号数	ＤＶＩ出力信号	４系統　（OUT-DVI 基板 ４枚実装時）
	ＳＤＩ出力信号	４系統　（OUT-DVI 基板 ４枚実装時）
重　　量	約９ｋｇ	
消費電力／皮相電力	約　２００Ｗ／２０４ＶＡ	
使用周囲温度	５～４０℃	

OUT－DVI基板		
入力信号	入力信号形式	3G－SDI LevelA 1080p 入力ユニットより入力
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	1系統
DVI出力信号	出力信号形式	DVI出力信号：DVIデジタル　最大1980x1080P ※ケーブル長の制限が有ります。 ※DVI-HDMI変換ケーブルを使用する事で、 HDMIモニタに出力可能です。
	出力接栓	DVIコネクタ
	出力信号数	1系統
SDI出力信号	出力信号形式	HD－SDI　59．94Hz 3G－SDI LevelA 1080p　59.94Hz どちらか選択出力。
	出力接栓	BNCコネクタ
	出力信号数	1系統
機能	チャンネル名称、ロゴ、背景合成、コメント表示、インジケータ表示	
	LTC又は内部時計（アナログ／デジタル）表示	
	出力モニタ用リサイズ	
	SDI・DVI出力	
活線挿抜	不可	

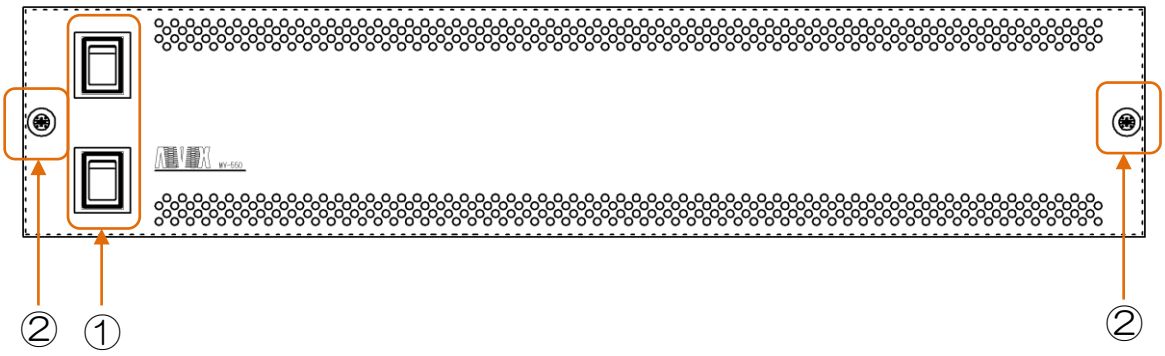
OUT—CNT基板		
外部制御	制御方式	TCP／IP
	コネクタ	RJ－45
入力ユニット制御	制御方式	TCP／IP（入力ユニットと接続）
	コネクタ	RJ－45
活線挿抜	不可	

OUT—232C基板（OUT-CNTとセットです）		
外部制御	制御方式	RS-232C
	コネクタ	D-SUB9ピン
外部制御	制御方式	RS-422
	コネクタ	D-SUB9ピン
LTC入力	LTC入力信号	SMPTE　12M　2Vp－p　終端2kΩ
	コネクタ	BNCコネクタ
活線挿抜	不可	

３．各部の名称と機能

３－１　入力ユニット

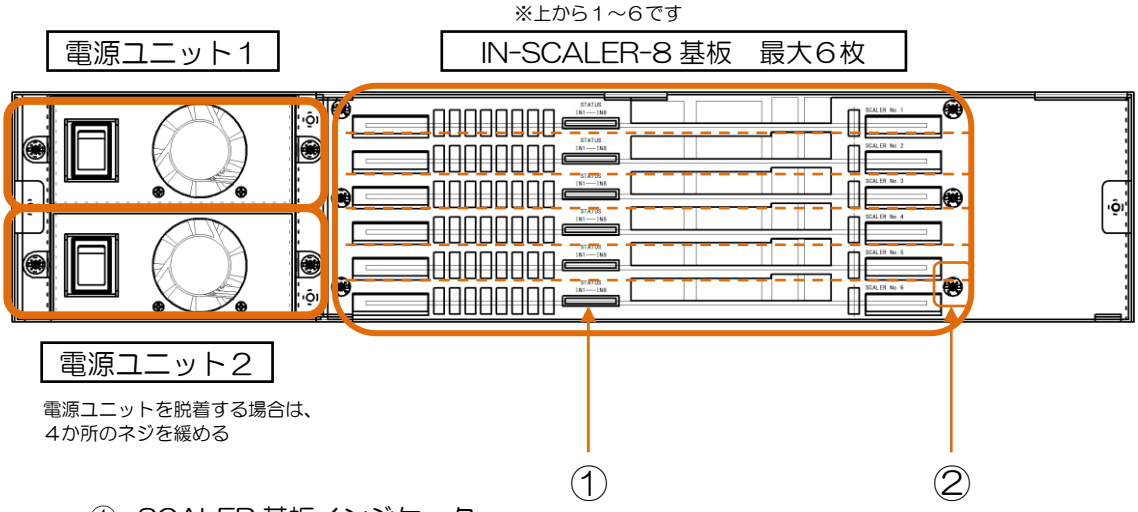
＜フロント＞



①　電源ユニットスイッチ
　　本機器の電源 ON/OFF を行います。
　　通常は、上下のスイッチを両方ＯＮにして使用してください。

②　フロント着脱用ネジ
　　フロントを開口する際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

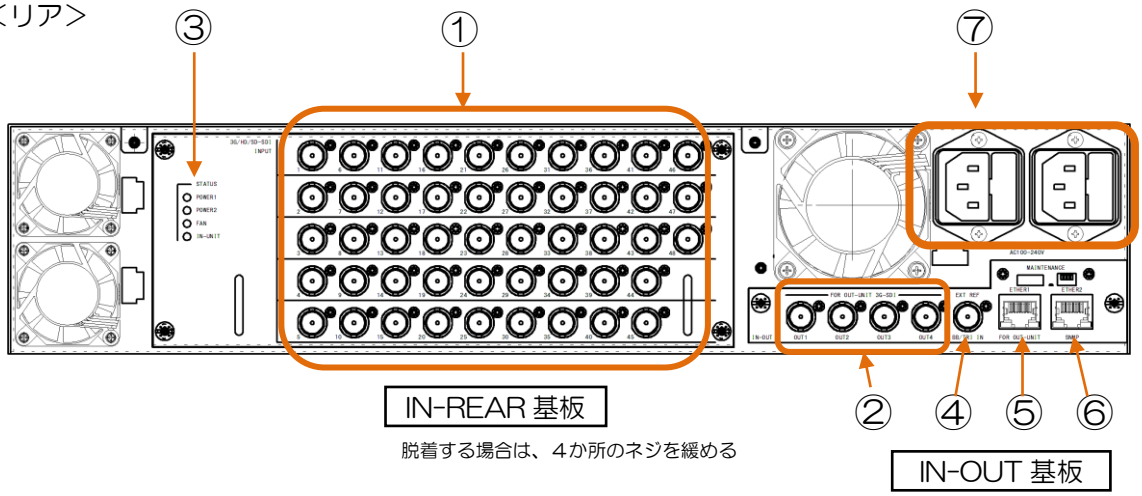
＜フロント開口時＞



①　SCALER 基板インジケータ
　　SCALER 基板への入力信号の状態を表します。
　　消灯：無信号、点滅：SD、点灯：HD　左から入力１～８です。
　　SCALER 基板は８入力をリサイズ出力します。

②　SCALER 基板脱着用ネジ
　　SCALER 基板を脱着する際には、６カ所のネジを緩めて金具を外します。

<リア>



① 信号入力

３G／HD／SD－SDＩ映像信号を入力します。
４８ｃｈ入力が可能です。

② 信号出力

４系統の３G－SDＩ信号を出力します。
出力１～４を、出力ユニット OUT-DVI 基板の信号入力１～４に入力します。

③ ステータスＬＥＤ

機器状態を示すＬＥＤです。
上から　POWERＲ１、POWERＲ２、ＦAN、ＩN－UNＩＴ。
PWERＲ１、POWERＲ２、ＦANは赤点灯で異常、正常は消灯。
ＩN－UNＩＴは緑点滅で起動中、起動完了緑点灯。

④ リファレンス入力

使用しません。接続しないでください。

⑤ ＬＩNK

制御用ＬANインターフェイスコネクタです。
出力ユニットのＬＩNKと接続します。

⑥ SNMP

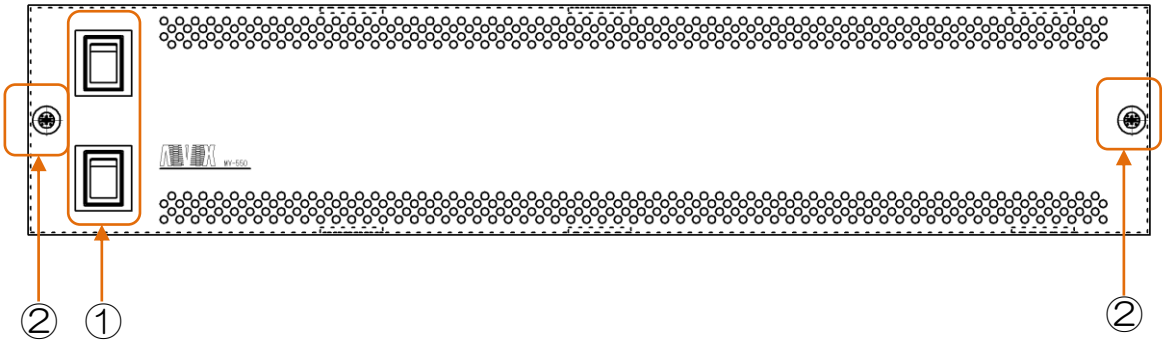
SNMP用ＬANインターフェイスコネクタです。
状態通知を行います。

⑦ ＡＣ入力

本機の電源入力（３Ｐインレット）です。
電源コードは電源ユニット１，２とも接続して下さい。

３－２　出力ユニット

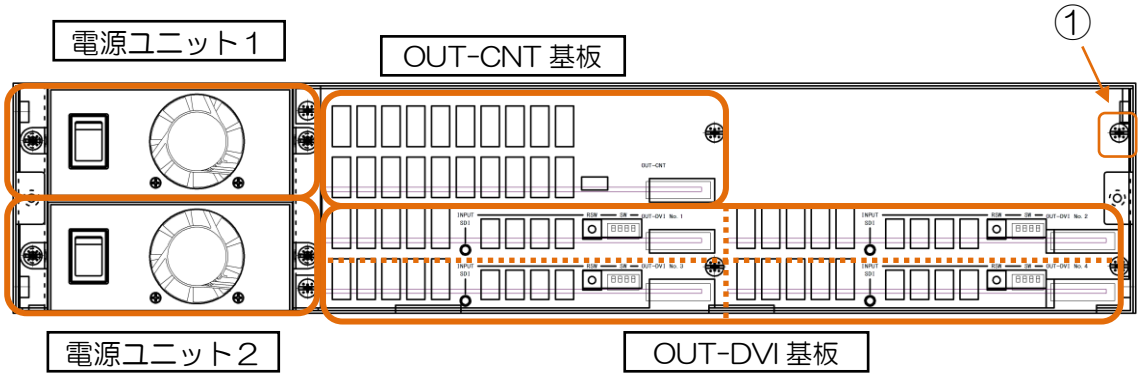
＜フロント＞



① 電源ユニットスイッチ
本機器の電源 ON/OFF を行います。
通常は、上下のスイッチを両方ＯＮにして使用してください。

② フロント着脱用ネジ
フロントを開口する際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

＜フロント開口時＞

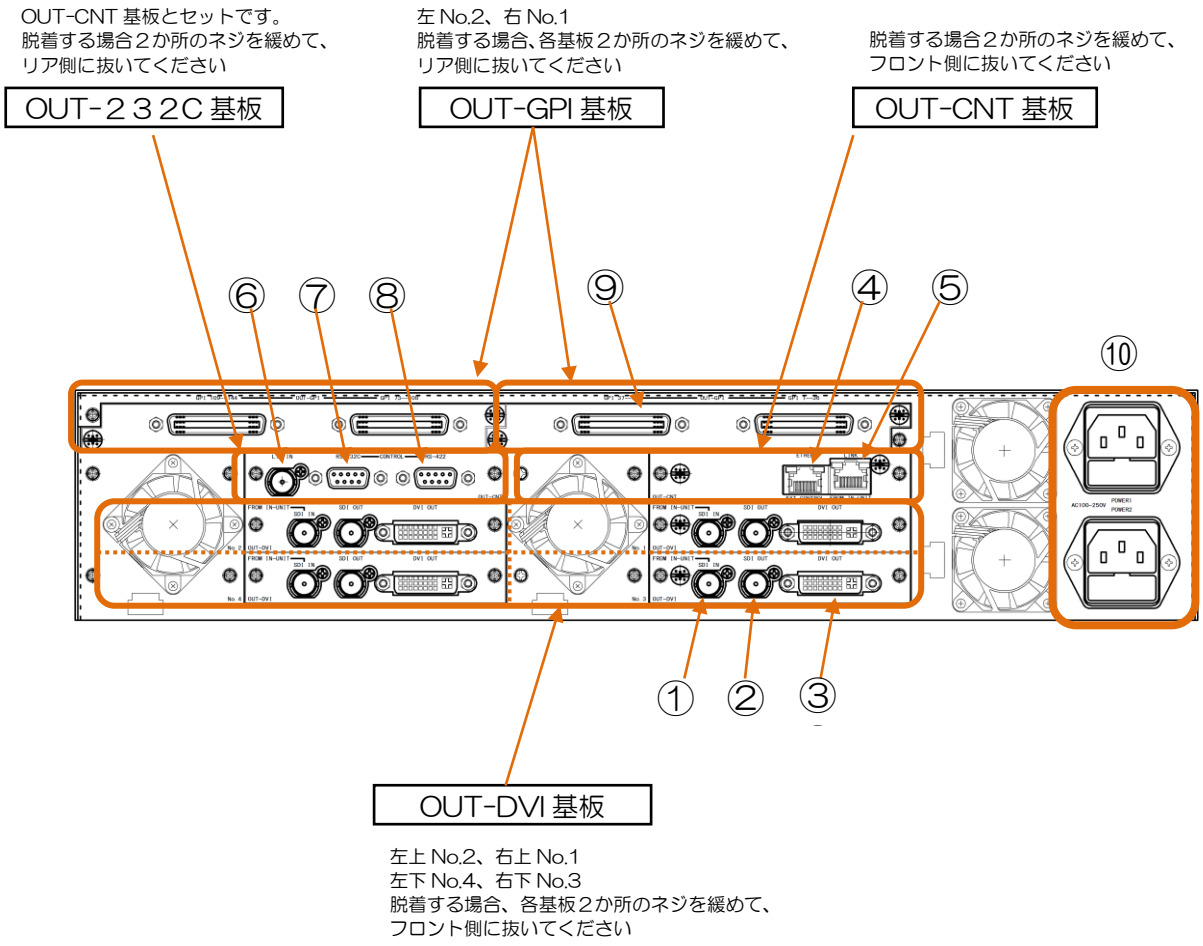


電源ユニットを脱着する場合は、
４か所のネジを緩める

左上 No.1、右上 No.2
左下 No.3、右下 No.4

① 基板脱着用ネジ
OUT-CNT、OUT-DVI 基板を脱着する際には、６カ所のネジを緩めて金具を外します。
各基板の背面ネジも外し、フロント側に抜いてください。

＜リア＞



① SDI 入力

入力ユニットからの SDI を入力するコネクタです。

② SDI 出力

ＨＤ／３Ｇ－ＳＤＩ信号を出力します。

ＨＤ／３Ｇは、ＤＶＩ基板ディップスイッチの設定により、選択出力します。

※詳細については表２を参照してください。

③ ＤＶＩ信号出力

１９８０×１０８０ｐのＤＶＩ信号を出力します。

※ケーブル長の制限が有ります。

HDMI モニターを使用する場合、DVI-HDMI 変換ケーブルで表示可能です。

④ ＥＴＨＥＲ

外部制御用ＬＡＮインターフェイスコネクタです。

ネットワークから制御する際に接続します。

⑤ ＬＩＮＫ

入力ユニット制御用ＬＡＮインターフェイスコネクタです。

入力ユニットのＬＩＮＫと接続します。

⑥ ＬＴＣ入力

時計表示用のＬＴＣ信号を入力します。

時計表示は、内部時計か LTC で表示します。

⑦ RS-２３２C

RS-232C で外部より制御する際に接続します。

⑧ RS-４２２

RS-４２２で外部より制御する際に接続します。

⑨ GPI 入力（オプション）

接点で制御する際に接続します。

最大で２枚実装可能。１枚あたり７２接点入力が可能です。

⑩ AC 入力

本機の電源入力（３Ｐインレット）です。

電源コードは電源ユニット１，２とも接続して下さい。

表1．ＤＶＩ 出力解像度（有効画像領域）

ＤＶＩ基板 ロータリー スイッチ	名称	Ｈ Ｄｉｓｐ (dot)	Ｖ Ｄｉｓｐ (line)	レイアウト 縦横比	備考
０	１０８０ｐ	１９２０	１０８０	１６：９	
１	WSXGA+[1]	１６８０	９４５	１６：９	※1
２	WXGA	１２８０	７２０	１６：９	※1
３	UXGA	１６００	１２００	４：３	※1
４	SXGA+	１４００	１０５０	４：３	※1
５	SXGA	１２８０	９６０	４：３	※1
６	XGA	１０２４	７６８	４：３	※1
Ｂ	UXGA	１６００	１２００	１６：９	レターBOX ※1
Ｃ	SXGA+	１４００	１０５０	１６：９	レターBOX ※1
Ｄ	SXGA	１２８０	９６０	１６：９	レターBOX ※1
Ｅ	XGA	１０２４	７６８	１６：９	レターBOX ※1

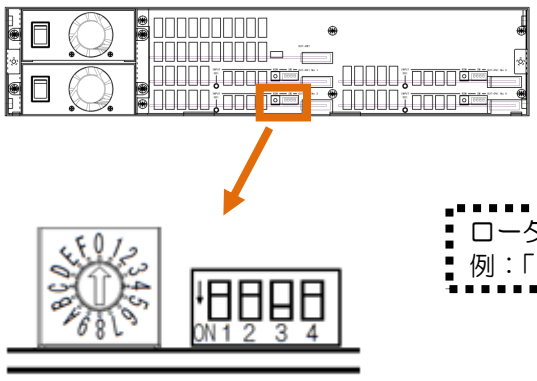
表２．ＳＤＩ出力信号設定

ＤＶＩ基板ディップスイッチ				ＳＤＩ出力信号
４ （HDサブアスペクト）	３ （サブアスペクト）	２	１	
Don’t care （表４参照）	Don’t care	ＯＦＦ	ＯＦＦ	HD-SDI
		ＯＦＦ	ＯＮ	3G-SDI ※1
		ＯＮ	ＯＦＦ	設定無し
		ＯＮ	ＯＮ	設定無し

表４．HD－ＳＤＩの表示方式

ＤＶＩ基板 ディップスイッチ ４	モニタ縦横比 設定	ＤＶＩ基板 ロータリースイッチ レイアウト縦横比設定	表示方式
ＯＦＦ	１６：９	１６：９	フル
		４：３	－ （設定しないで下さい）
ＯＮ		１６：９	－ （設定しないで下さい）
		４：３	サイドパネル※1

※１．将来対応予定
※２．上記以外の設定を行わないでください。



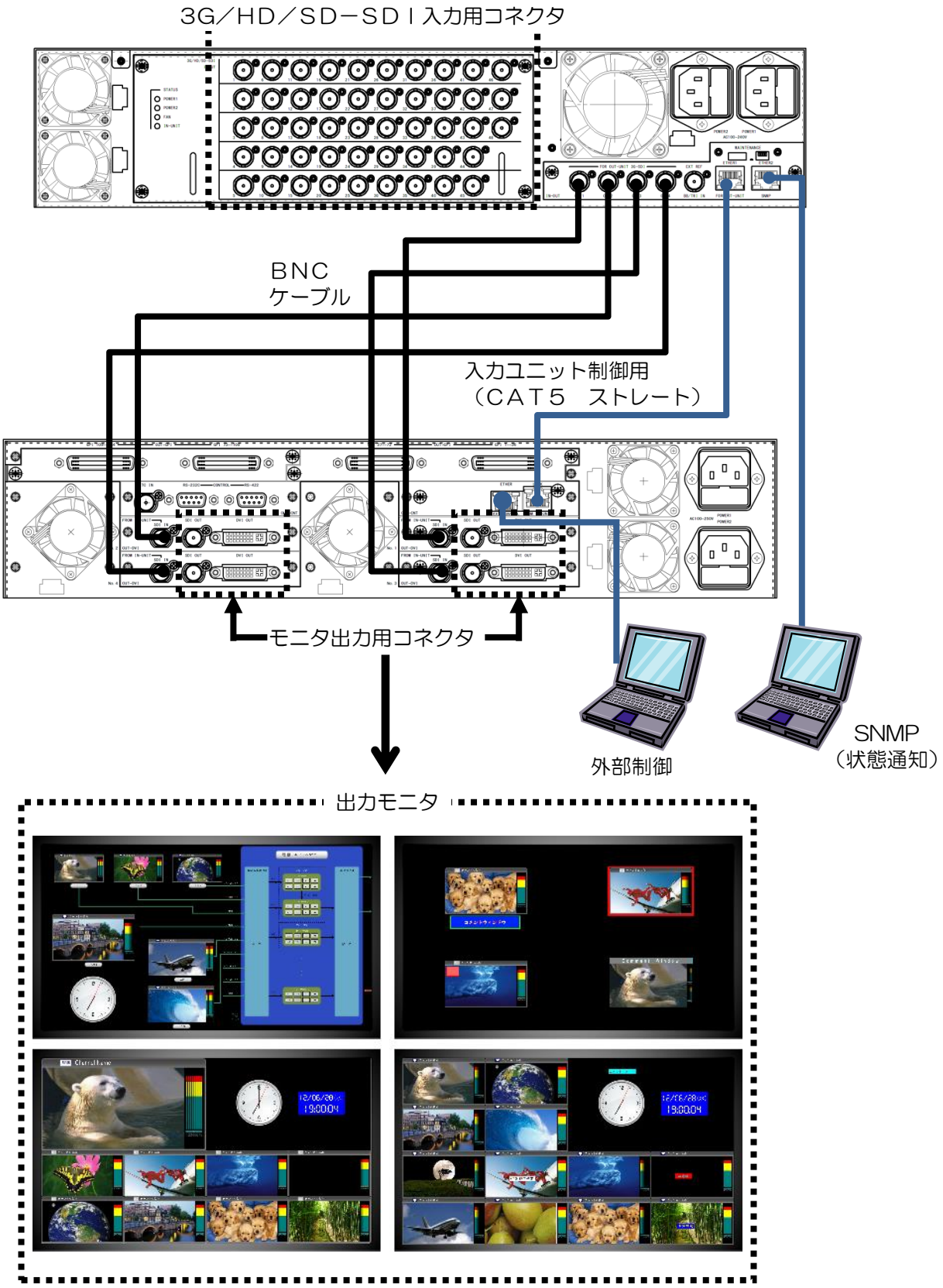
OUT-DVI基板 SW部

ロータリースイッチ
例：「０」設定時

ディップスイッチ設定例
４：ＯＦＦ
３：ＯＮ
２：ＯＦＦ
１：ＯＦＦ

４．接続方法

◇４系統出力時の接続例を示します。



５．設定について

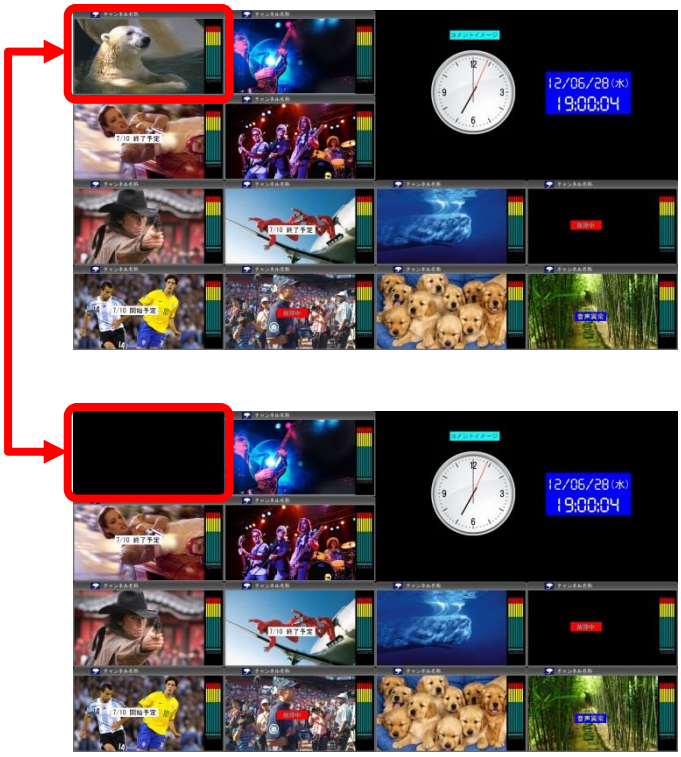
５－１ 子画面設定

◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。
※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

５－１－１ 表示 ON/OFF

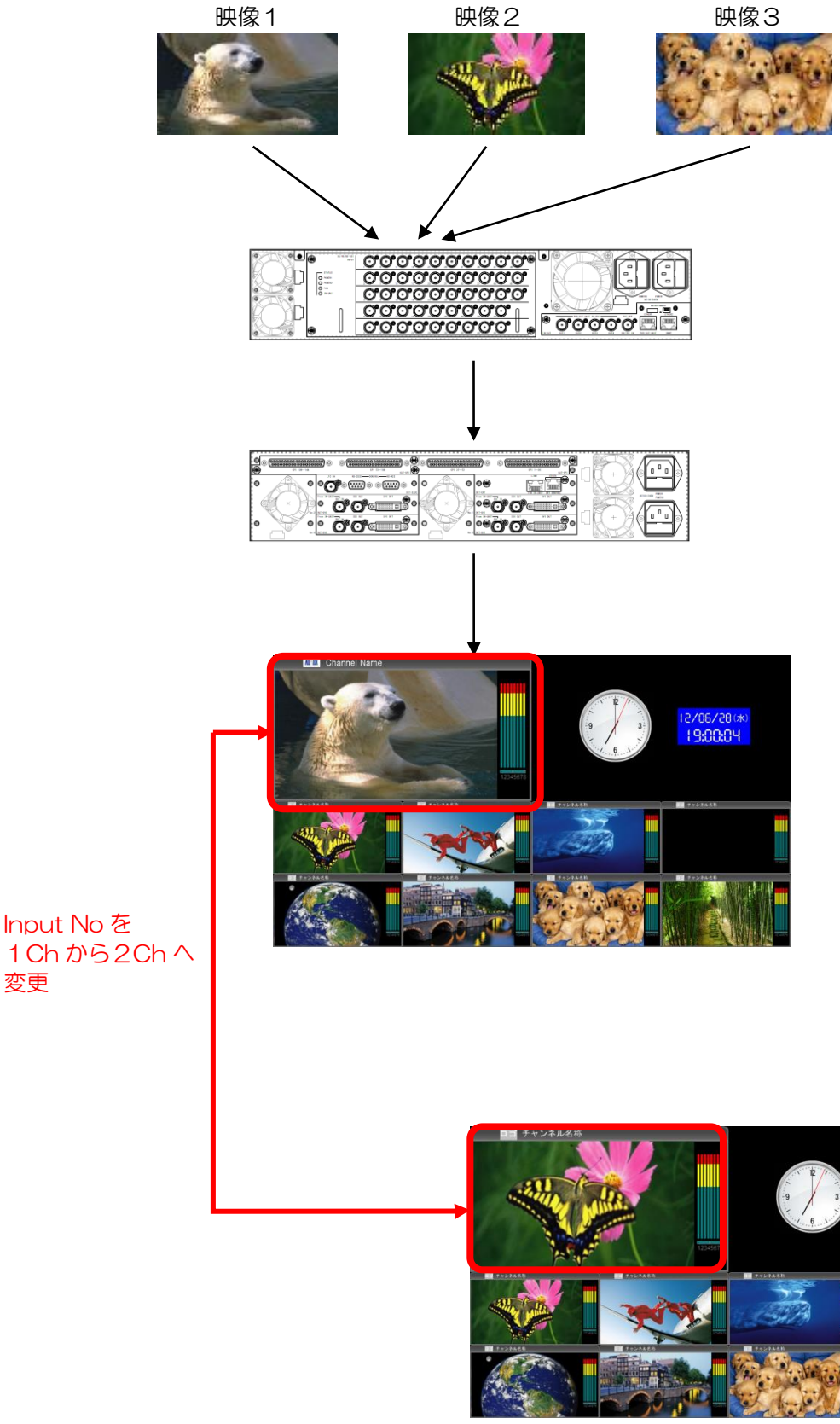
子画面の表示/非表示が設定できます。

表示 ON/OFF



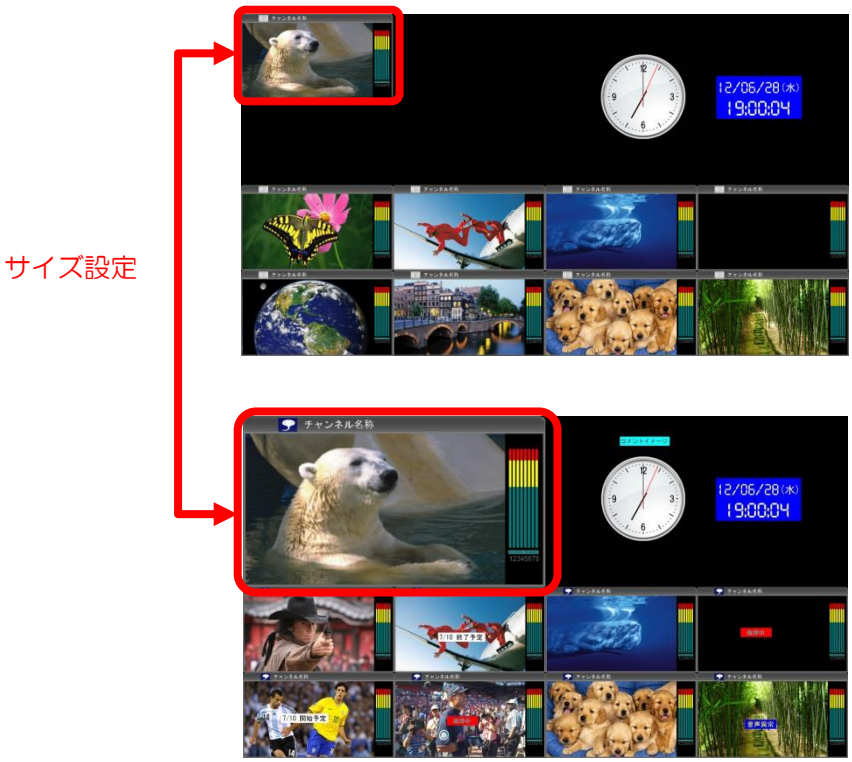
５－１－２ Input No

入力マトリックスの設定を行い、表示する映像(1～48)を選択することが出来ます。
Input No を変更するとチャンネル名称・ロゴも追従し変更されます。



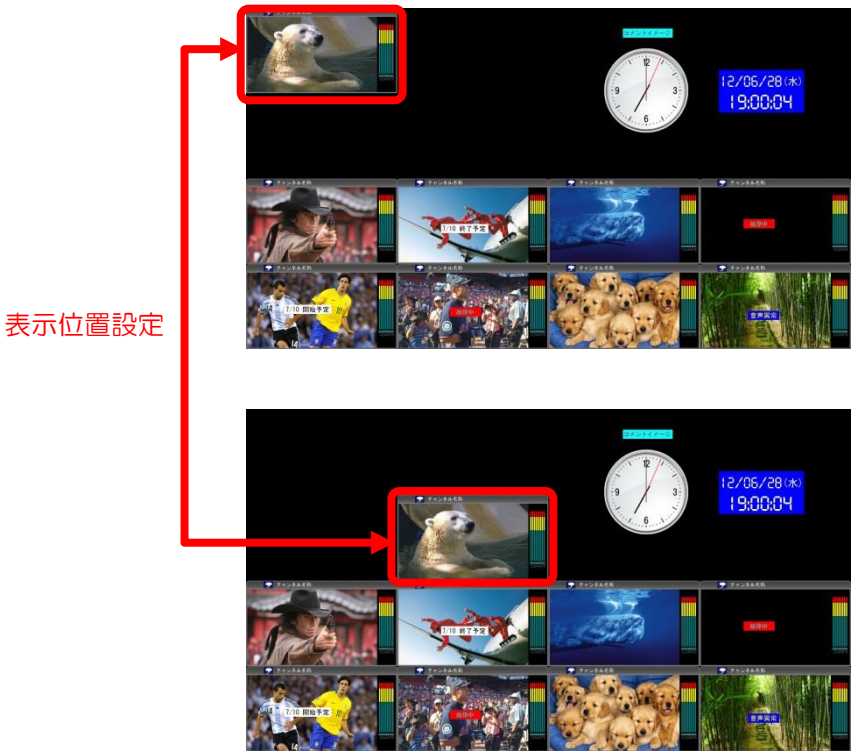
５－１－３ サイズ

サイズを１ドット単位で設定できます。



５－１－４ 表示位置

表示位置（X,Y）を１ドット単位で設定できます。



５－１－５ 枠モード

各子画面には下図のようにノーマル、シンプル又はフルの３種類の枠モードが設定できます。

ノーマル：基本となるモードです。

シンプル：ノーマルより映像が大きく表示されるモードです。

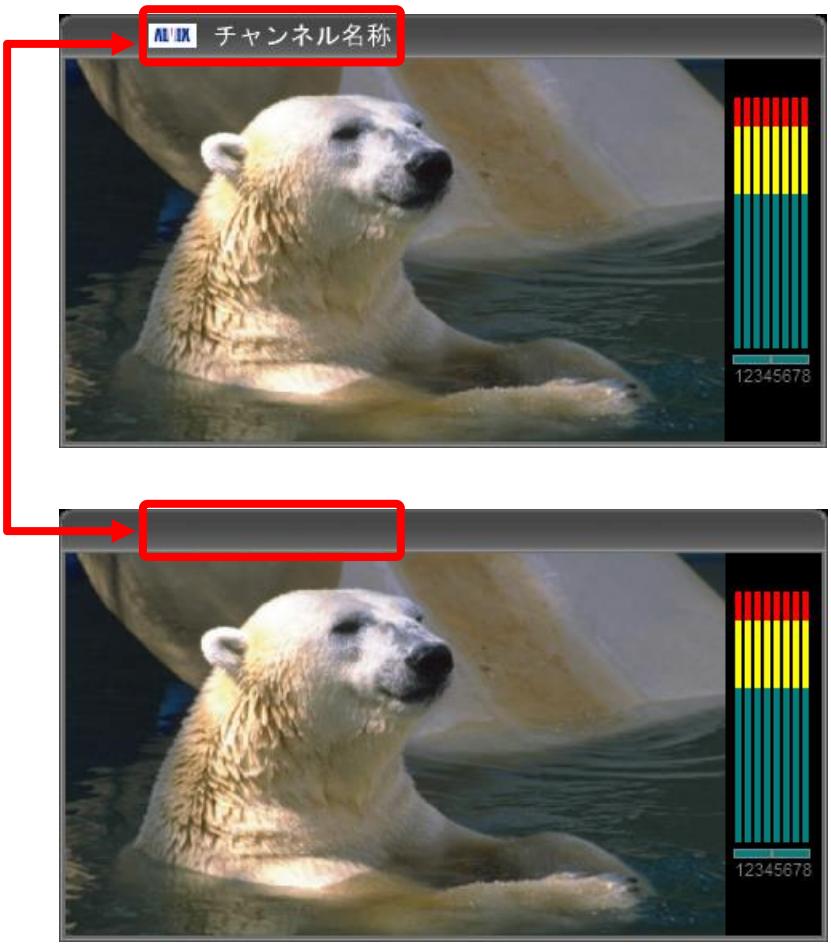
フル　　：オーディオバー、タイトルバーがなく、映像が子画面一面に表示されるモードです。

設定	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

５－１－６ チャンネル名称・ロゴ　表示 ON/OFF

チャンネル名称・ロゴそれぞれの表示/非表示が設定できます。

チャンネル名称・
ロゴ表示 ON/OFF
設定



５－１－７ チャンネル名称・ロゴ　表示位置

チャンネル名称・ロゴの表示位置(上又は下)が設定できます。

- 枠モード=ノーマル

設定	表示
上	
下	

- 枠モード=シンプル

設定	表示
上	
下	

- 枠モード=フル

設定	表示
上	
下	

５－１－８ 音声バー表示位置

各子画面はそれぞれ音声バーの表示位置が設定できます。
設定可能な位置は、枠モードにより以下のように異なります。

枠モード	設定可能位置
シンプル	右、左
ノーマル	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)
フル	設定無し

- 枠モード=シンプル

設定	表示
右	
左	

- 枠モード=ノーマル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

- 枠モード=フル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

表示なし	

５－１－９ 枠色・ブリンク

枠色を RGB 値の各色 0，85，170，255 の 4 段階により設定できます。
枠の太さを 4 ドット単位で 16 段階(0～60 ドット)設定できます。
ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

- 各枠モードでの枠表示イメージ（枠色 RGB 値[255,0,0]設定）

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

- 枠太さ設定イメージ
  （子画面サイズ：480x270、シンプルモード、枠色 RGB 値[255,0,0]設定）

枠モード	表示
4 ドット	
12 ドット	
20 ドット	

５－１－１０ BASE 色・ブリンク

BASE 色(音声バーの背景色)を RGB 値の各色 0，85，170，255 の 4 段階により設定できます。
ブリンク設定により設定した BESE 色で点滅できます。

- 各枠モードでの BASE 表示イメージ（BASE 色 RGB 値[0,85,255]設定）

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	―

５－１－１１ サブインジケータ

タイトルバーの両サイドにサブインジケータの表示ができます。
左右のサブインジケータそれぞれに対し表示 ON/OFF 及び色を RGB 値の各色 0，85，170，255 の 4 段階により設定ができます。

サブインジケータ表示イメージ（RGB 値 左[0,255,255]、右[255,0,255]）

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

５－１－１２ アスペクト設定

出力映像のアスペクト比（16：９又は４：３）が設定できます。

設定	表示
16：9	
4：3	

５－１－１３ サブアスペクト設定

「5-1-12 アスペクト設定」の設定と入力映像のアスペクト比が一致しない場合の映像の表示方法が設定できます。

- アスペクト設定=16：9、入力映像=4：3

設定	表示
スクィーズ	
サイドパネル	

- アスペクト設定=4：3、入力映像=16：9

設定	表示
レターボックス	
サイドカット	

５－２ チャンネル名称・ロゴ設定

１～４８の各入力映像にそれぞれチャンネル名称及びチャンネルロゴが設定できます。
設定されたチャンネル名称・ロゴは子画面のチャンネル名称・ロゴが表示設定時にタトルバーに表示されます。
チャンネル名称にはテキストが表示でき、ロゴには画像(下イメージ参照)が登録できます。
チャンネル名称・ロゴはそれぞれ入力 Ch に紐づきます。
子画面の Input No を変更するとそれに追従してチャンネル名称・ロゴの表示も変更されます。

チャンネル名称・ロゴの表示イメージ

５－３ 時計設定

５－３－１　アナログ時計

レイアウト毎に１つのアナログ時計が表示できます。

アナログ時計イメージ

5−3−1−1　表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5−3−1−2　表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部で選択できます。

5−3−1−3　表示位置

表示位置（X,Y）を 1 ドット単位で設定できます。

5−3−1−4　サイズ

サイズを以下の５段階で設定できます。

216 × 216
270 × 270
360 × 360
432 × 432
540 × 540

５－３－２ デジタル時計

レイアウト毎に１つのデジタル時計が表示できます。

デジタル時計イメージ

5−3−2−１ 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5−3−2−２ 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部時計で選択できます。

5−3−2−３ 表示位置

表示位置（X,Y）を 1 ドット単位で設定できます。

5−3−2−４ サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 108
270 × 135
360 × 180
432 × 216
540 × 270

5−3−2−５ 文字色・背景色

文字色及び背景色を RGB 値の各色 1～255 により設定できます。

５－４ コメントウィンドウ設定

・出力コメントウィンドゥと入力コメントウィンドゥ機能を持ちます。
・出力コメントウィンドゥはレイアウト毎（レイアウト１～８）に１６０個の
　コメントウィンドウが表示できます。
・入力コメントウィンドゥは入力毎（Input No.1～No.48）に最大１５個の
　コメントウィンドウが表示できます。

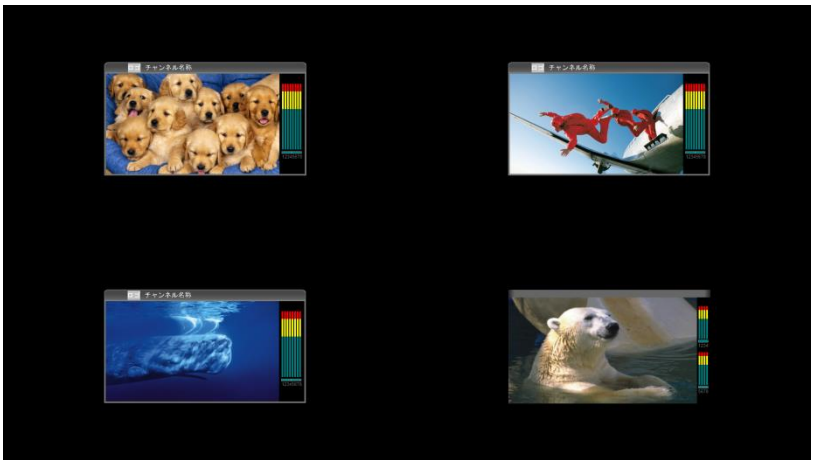
各部名称

以下にコメントウィンドウの各部名称を記載します。

① 文字
② マット
③ 枠

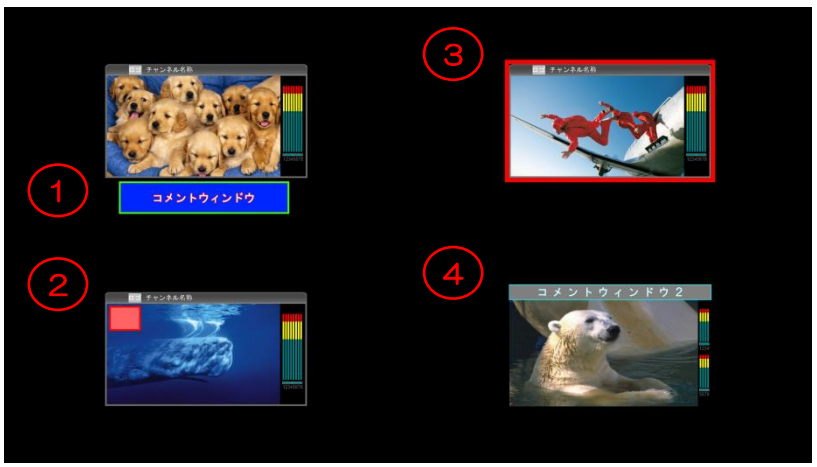
使用例

コメントウィンドウの使用例を記載します。
下図にコメントウィンドウを使用した場合のイメージを記載します。
下図では４つのコメントウィンドウを表示しており、最大１６０個まで表示出来ます。



コメントウィンドウ無しのレイアウトイメージ

コメントウィンドウ追加



コメントウィンドウ設定時のレイアウトイメージ

①　通常使用例

コメントウィンドウは任意の文字を画面上自由に任意の大きさで配置出来ます。

②　タリーの様に表示出来ます。

コメントウィンドウは背景色が設定でき、文字を空白のみにすることでタリーの様に表示できます。

③　枠の様に表示出来ます。

コメントウィンドウは透過率が設定でき、枠サイズも設定できるため、枠の様に表示出来ます。
設定：マット色：不問、マット透過：１００%、枠色：赤、枠透過：０%

④　チャンネル名称の様に表示出来ます。

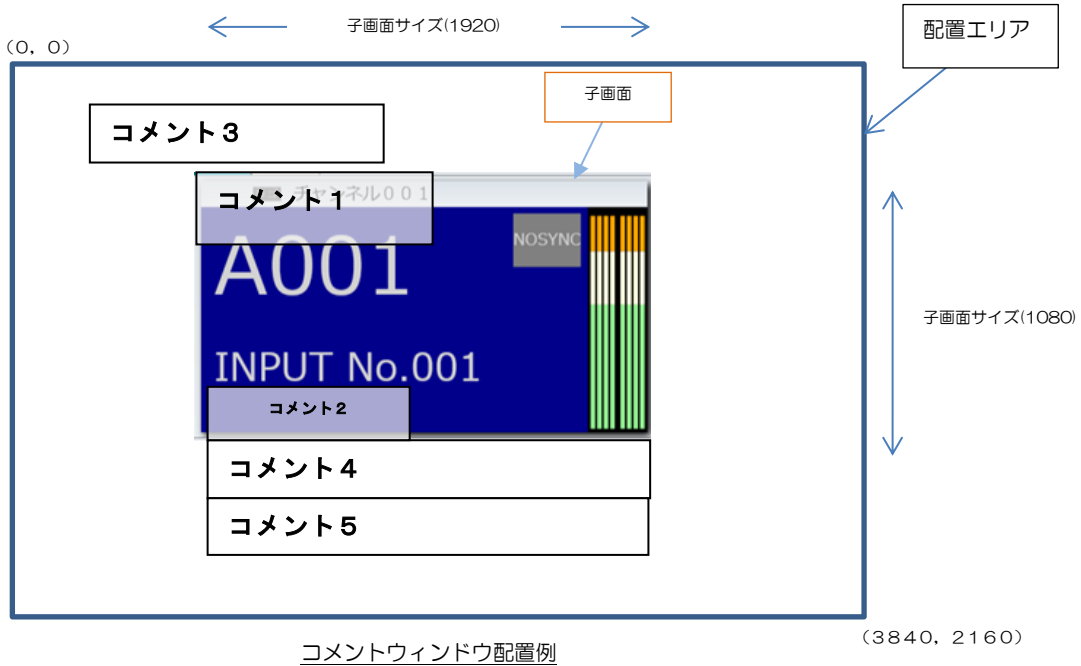
コメントウィンドウを子画面の上部等に配置し、チャンネル名称の様に表示出来ます。
テキストは最大１０００個のパターンを登録でき、コメントウィンドウ毎にパターンを選択できます。

コメントウィンドウの文字は選択しているパターンを変更するだけで変更出来ます。

パターン変更

入力コメントウィンドゥは、下図の様に、子画面に関連して配置し表示します。

子画面のサイズを１９２０×１０８０として、入力コメントウィンドウを配置します。
配置エリアは、H:　0000　～　3840　/ V:0000 ～ 2160
例）「コメント１」の位置=H:960, V540　サイズ=H:50%(960),V:25%(270)



コメントウィンドウ配置例

入力コメントウィンドゥは子画面のサイズに合わせて、自動でリサイズします。
子画面のサイズが小さくなるにつれ表示できなくなる場合があります。

５－４－１ 設定項目

コメントウィンドウデータ、コメントパターンの設定項目の概要を以下に記載します。
設定詳細は外部制御仕様を参照下さい。

コメントウィンドデータ設定項目

No	項目名	項目内容
1	表示/非表示	表示/非表示設定です。
2	マットＸポジション マットＹポジション	表示位置です。
3	マット幅 マット高さ	表示サイズです。
4	マット色	
5	マット透過率	背景色の透過率です。
6	枠サイズ	枠の太さです。
7	枠色	
8	枠透過率	枠の透過率です。
9	コメントパターン ID	紐づくコメントパターン ID です。
10	文字サイズ	文字サイズです。
11	配置上下、配置左右	文字の配置位置です。
12	マット Blink	マットの点滅です。
13	枠 Blink	枠の点滅です。
14	文字 Blink	文字の点滅です。

コメントパターン設定項目

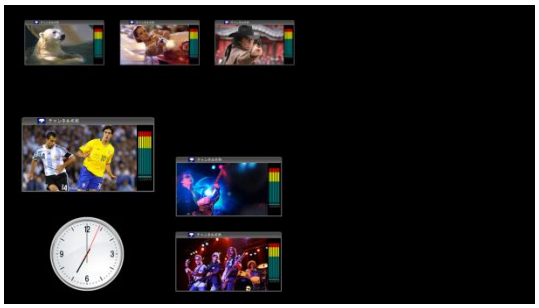
No	項目名	項目内容
1	コメントパターン ID	コメントパターンのキーとなる ID です。 本項目は変更出来ません
2	文字色	文字色です。
3	文字エッジ幅	文字のエッジ幅です。
4	文字エッジ色	文字のエッジ色です。
5	フォント	文字のフォントです。
6	文字	文字の内容です。

５－５ 背景設定

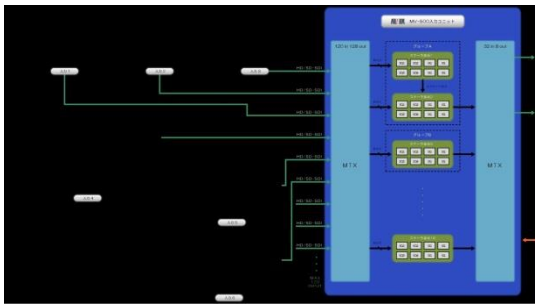
レイアウト毎に背景画像を登録・表示できます。

背景画像表示イメージ

レイアウト設定イメージ



背景画像イメージ



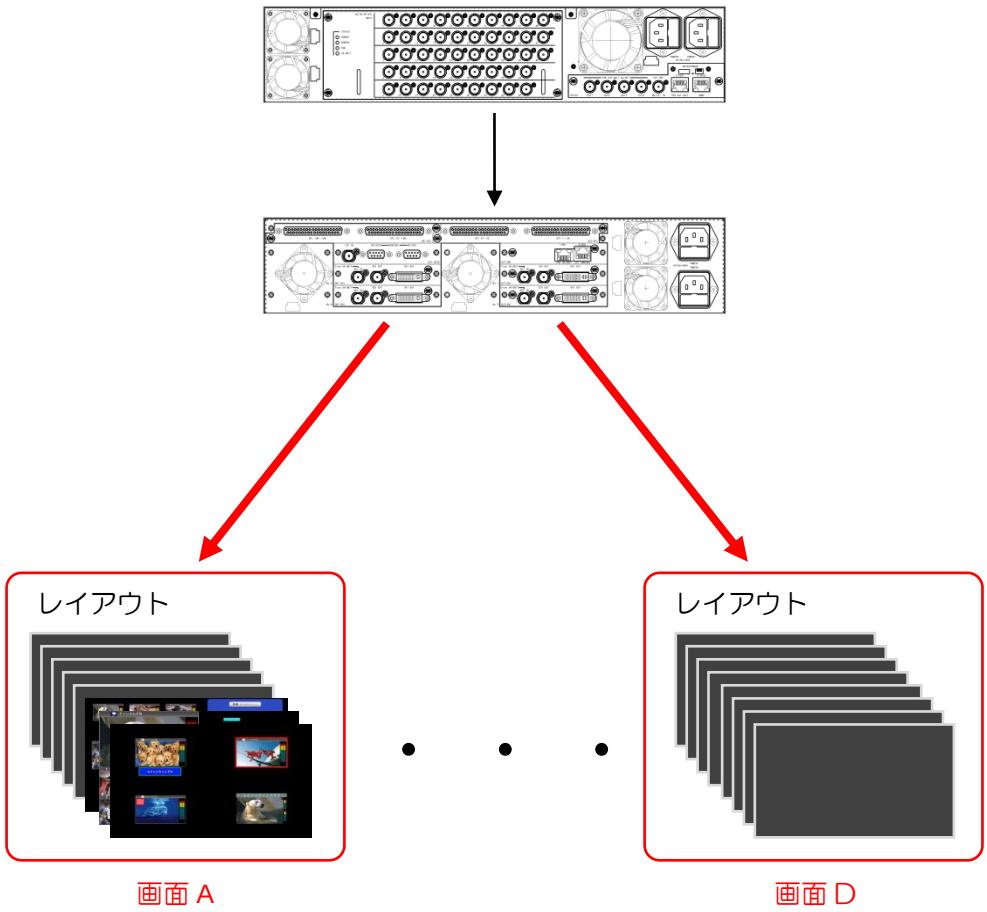
背景画像設定イメージ

５－５－１ 表示 ON/OFF

背景画像の表示/非表示が設定できます。

５－６ レイアウト設定

出力毎に８個のレイアウトが設定出来ます。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒９５９―０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８